

みずき野ガーデン:夏の表情



守谷市里親事業の助成を得て、町内ボランティアで維持、管理している「みずき野ガーデン」。

冬から春、初夏にかけて花壇を飾ってくれたチューリップや、ピオラ、ノースポールなどが役目を終え、夏の花の準備が整いました。まだ小さい苗も多いですが、これから恵みの雨と夏の日差しを浴びて大きく育ってくれることでしょう。



花壇の中には小道や、切株の休憩スペースもあります。ぜひ中に入ってたくさんのお花を間近に見て、楽しんでください。



夏と言えば真っ赤なサルビア。遠目にも可愛い赤が目にとまります。アリッサムの白とのコントラストが素敵です。



ラベンダーの中央には間もなく白いユリが咲く予定です。いい香りの競演です。



秋に掘り上げたグラジオラスの球根を植えました。鮮やかピンクの花の開花が待ち遠しいです。



ピンクのグラデーションが可愛いキンギョソウ。この他にも、白、黄色、紫の花の苗も植えました。



花壇の周囲ですっと首を伸ばしているのはアガパンサス。待ちわびていたお花が咲き始めました。



花壇の縁を飾るマリーゴールド。まだ小さいですが、これから大きくなって華やかさを演出してくれます。



うす紫色の可憐な花をつけるギボウシ。



きれいな紫のミソハギ。お盆の迎え火をたく前に、この花で周囲に水をまく風習もあるそうです。



去年植えたアルストロメリア。株が大きく育ってお花がたくさんついています。



お花はちょっと控えめですが、どことなく気品を感じさせるブルーセージ。



鮮やかな色で目を楽しませてくれるコリウス。大きくなるので株間を広く植えました。



種がこぼれて花壇のあちらかちかでバーベナが白、ピンク、紫の可憐な花を咲かせています。



種から育てているひまわり。一本から複数のお花が咲く品種です。開花をお楽しみに！



去年植えていたリナリアの種がこぼれて今年も咲きました。きれいな紫色です。右隣は、こぼれた種から出たリナリアの芽を鉢植えにしたもの。地植えとはちょっと雰囲気は違ってきました。どんな花が咲くか興味津々です。



花壇の真ん中にはオリブの木。何年か後には、花壇のシンボルツリーになるでしょう。

3年目に入った「みずき野ガーデン」。まだまだ試行錯誤ではありますが、宿根草はしっかり根付いて株が大きくなり、そこに年2回季節の花苗を加えて、それぞれの季節に色とりどりのお花を楽しむことができるようになりました。散歩や買い物の途中で、ぜひ寄ってみてください。

毎週木曜日の午後4時前後(季節により多少の変動あり)に、6丁目の花好きの方々を中心に花壇の手入れをしています。一緒にお手伝いいただける方、木曜日に立ち寄って声をかけてください。

2016年6月5日
(みずき野ガーデン リーダー 村石かよ子)